

十四 49

勅授

丙  
八  
二  
西

立案 昭和三年二月五日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

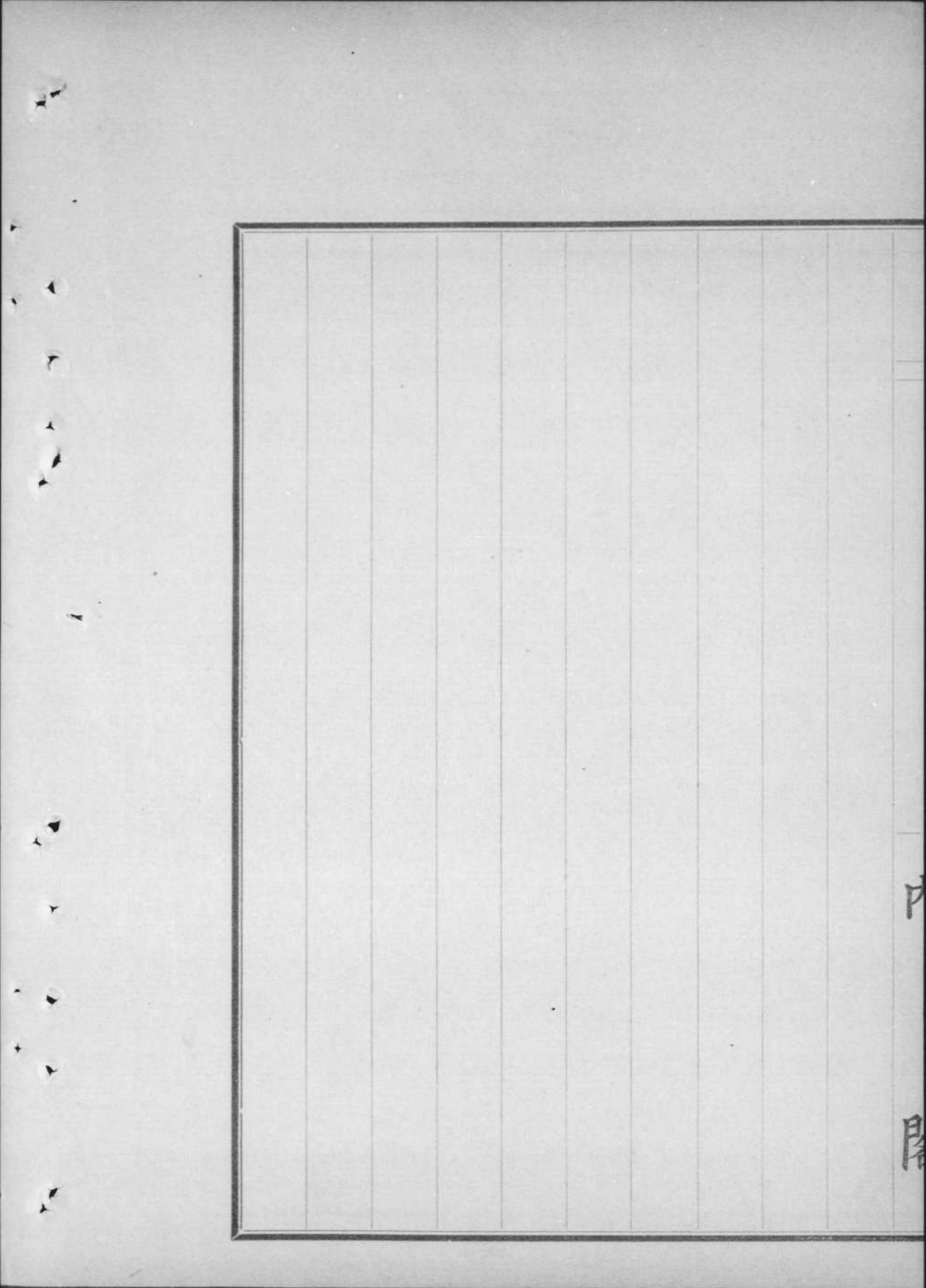
改正四位勳二等湯地定基位階追陞  
件

昭和三年二月十日裁可二月十日達  
臺帳記入二月十三日官報報告濟

宮内省

89





閣位第七號

起 昭和三年二月十日

裁可 決定

三年二月十日

施行

年月日

内閣總理大臣

五

内閣書記官長

〽

内閣書記官長

故正四位勲二等湯地定基、明治五年正月開拓使八等出仕以來根室縣令、北海道廳理事官等、任官ニ其間北海道開拓ノ為メニ貢獻シタル功績寔ニ顯著ナルモノアリ 次テ明治二十三年六月

内

閣

元老院議官ニ勅任セラレ翌二十四年十二月依願免官ト爲リ同月貴族院議員ニ勅任セラレ今日ニ至ル迄議員在職實ニ三十六年餘ノ久シキニ亘リ幾多重要ナル法案並豫算案ノ審議協賛ニ努メタル功績偉大ナリトス然ルニ同人、本月十日死去、趣ニ付特旨ヲ以テ左ノ通位階追陞ノ件上奏相成然ルヘシ

故正四位勲二等 湯地 定基

特旨ヲ以テ位一級追陞セラル  
正四位勲二等湯地定基  
叙従三位

二月十日付

内

閣

貴族院 三四號

昭和三年二月十日

貴族院書記官長成 瀨

達



内閣總理大臣男爵田中義一 殿

上 申

貴族院議員正四位勳二等湯 地 定 基

貴 族 院

右本日卒去致候處本人ハ明治五年正月北海道開拓使八等出仕被申

付次テ開拓使大主典、同權少書記官ニ歴任シ同十五年二月開拓使  
ヲ廢セラレ函館、札幌、根室三縣ヲ置カルルニ當リ根室縣會令ニ任  
セラレ北海道開拓施設上ニ貢獻スルコト不尠同十九年一月根室縣  
廢セラレ北海道廳ノ設置セラル、ヤ北海道理事官ニ任シ土木課長  
被仰付銳意地方行政就中同道土木ノ整理及治水ノ經營ニ力ヲ致シ  
治績ヲ舉ケ同二十三年六月元老院議官ニ任シ翌年十二月貴族院議  
員ニ勅任セラレ議員在職實ニ三十有六年餘ノ永キニ達ス其議員在  
職中ニ在テハ諸種ノ法律案ノ委員ヲ擔任シ克ク審議協贊ノ任ヲ全  
フシ以テ我カ憲法政治ノ運用ニ貢獻シタルノ功績顯著ナルヲ確認  
致候依テ相當ノ御恩賞ノ御詮議相成度別紙履歷書ヲ具シ上申候也

北海道廳士族

天保十四年癸卯九月四日

氏名

湯地定基

籍 北海道廳夕張郡角田村字驟山

現住所

年号

月

日

任

免

賞

罰

職名

明治三年庚午

八月廿五日

米利堅國留學被付候事

太政官

但專農政學研究可致事

壬申年

正月七日

八等出任申付候事

開拓使

但農業及教師ケブロン等掛

四月

船雇方トシテ横濱出張申付候事

全

五月九日

セネラルケブロン北海道出張ニ付全行申付候事

八月廿五日

任大主典

全

貴族院

六年

十月五日

出京申付候事

開拓使

七年

五月十九日

ケブロン隨行北海道出張申付候事

開拓使

全月廿五日

御用有之横濱出張申付候事

全

八年

二月廿五日

御用有之横濱出張申付候事

全

四月十八日

ケブロン北海道出張ニ付隨行申付候事

全

九年

二月四日

七重村在勤申付候事

全

四月廿日

補開拓使七等出任

十年

二月九日

御用有之富岡製紙絲場出張被仰付候事

全

一月廿二日

御用有之札幌出張被仰付候事

全

一月廿二日

廢官

十一月	一月廿三日	任開拓使權少書記官	
	三月廿九日	叙正七位	
	全日	御用有之札幌出張被仰付候事	開拓使
十二年	二月廿三日	牧場等實際調査、爲メ根室出張被仰付候事	全
	七月八日	御用有之山越内村出張被仰付候事	全
	全月十三日	七重勸業試験場長被仰付候事	全
	八月	職務勉勵ニ付爲慰勞金四拾圓下賜候事	全
	十月三日	御用有之札幌出張被仰付候事	全
	十月十五日	御用有之札幌出張被仰付候事	全
	十月五日	農業假博覽會監督兼任被仰付候事	全
十三年	六月二日	函館支廳民事課勸業掛業務被仰付候事	全
	六月廿七日	御用有之森村出張被仰付候事	開拓使
	七月七日	任開拓少書記官	
十四年	一月廿五日	御用有之出京被仰付候事	全
	三月二日	御用有之下総牧羊場出張被仰付候事	全
	四月廿日	御用有之森村出張被仰付候事	全
	五月廿五日	叙從六位	
	七月廿日	御用有之有珠郡出張被仰付候事	全
	九月廿七日	御用有之札幌出張被仰付候事	全
	十月十九日	職務格別勉勵候ニ付爲慰勞金四拾圓下賜候事	全
十五年	二月十五日	御用有之有珠郡紋釧村出張被仰付候事	全
	二月廿日	御用有之出張被仰付候事	全
	三月九日	第二回函館農業及博覽會監督業務	

貴族院



十五年	九月	御用有之出京被仰付候事	全
	二月八日	廢開拓使置函館札幌根室三縣	
	今日	任根室縣令	
	今日	月俸貳百圓下賜候事	太政官
	今日	開拓使殘務取扱被仰付候事	全
	三月廿一日	叙從五位	
	六月廿二日	叙勳五等	
	今月廿三日	開拓使奉職中多年事務勉勵功不次依之為其賞金四百圓下賜候事	太政官
十七年	十月廿日	除服出仕	全
大正	一月廿日	自今月俸貳百五十圓下賜候事	太政官
十九年	一月廿六日	廢根室縣置北海道廳	
	一月廿六日	任北海道廳理事官	
	二月廿六日	土木課長被仰付	北海道廳
	四月三十日	叙奏任官一等賜上級俸	
二十年	一月二十日	獨逸國滞在歸路米國ヲ經過スヘキ旨認許ス	内閣
	十月廿日	叙勳四等	
廿二年	三月十日	第二部長ヲ命ス	北海道廳
廿三年	三月四日	長官々房詰ヲ命ス	全
	今日	第二部長ヲ解ク	全
	六月十日	任元老院議官	

貴族院



三十二号三〇日令

大正	四月一日	叙勲二等授瑞寶章	賞勲局
大正	二月十日	多年貴族院議員ノ職ニ在リテ勲勞 不貲依テ金杯一箇ヲ賜フ	全
大正	十一月一日	大正四年乃至九年事件ノ功ニ依リ金杯 一箇ヲ賜フ	全
大正	二月十日	金杯一組ヲ賜フ(皇太子殿下御結婚ニ付)	全
大正	七月一日	大正十年勅令第百七十七号ノ旨ニ 依リ第一回國勢調査記念章ヲ授與 セラル	全
大正	十一月十日	大正四年勅令第百五十四号ノ旨ニ依リ大禮 記念章ヲ授與セラル	全
貴族院			
大正	一月十七日	大正二年一月北海道夕張郡角田村 栗山尋常高等小學校舎改築費 トシテ金百五十圓寄附候段寄特ニ 付為其賞木杯一組下賜候事	全
大正	一月十七日	大正二年一月北海道夕張郡角田村 其賞木杯一組下賜候事	全
大正	八月一日	明治四十二年勅令第百五十六号ノ旨ニ 依リ韓國併合記念章ヲ授與セラル	全
大正	四月六日	大正元年十一月北海道夕張郡角田 村栗山尋常高等小學校改築費 トシテ金百圓寄附候段寄特ニ付為 其賞木杯一組下賜候事	全
大正	四月一日	明治三十七八年事件ノ功ニ依リ旭 日中綬章ヲ授与賜フ	賞勲局

立案 昭和三年二月十日  
決裁 昭和三年二月十日

弟 香 

案

特旨ヲ以テ位一級追陞スルハ 昭和三年二月十日  
叙從三位  
故正四位勲二等湯地定基  
正四位勲二等湯地定基  
昭和三年二月十日

宮内省

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和三年二月十日

宗秩寮總裁

貴族院書記官長

めくれず



丙  
受内  
知  
西

一故正四位勳二等湯地定基

右位記並辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和三年二月十四日

宗秩家總裁子貴仙石政敬

貴族院書記官長

宮  
内  
省

裏面白紙

150